

科目	生活行動援助技術 I				
時間数	1 単位 30 時間	授業方法	講義、演習	授業時期	1 年
講師名	③伊藤純子 ③池田麻希				
実務経験	③看護師(医療機関)				
ねらい	生活に必要な食事の援助技術(食事介助)・活動、休息援助技術(車いす・ストレッチャー移乗・移送、体位変換)を学び、演習を通して、単独で実施できるレベルまで到達できる。				
目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 栄養と食事、食生活の意義を理解し、対象の状態を考慮した食事介助ができる。 2. 人間の活動及び睡眠・休息の意義とそのメカニズムを理解し、対象が自分に適した生活リズムを形成し、快適な入院生活を送るための生活援助方法を学ぶ。 3. 看護の基本技術としてのボディメカニクスの原理を理解する。 4. 安全な体位と体位変換の意義を理解するとともにボディメカニクスの原理を用いて適切なポジショニング、移動の援助ができる。 				
授業計画					
回	内容				
1	基本的活動の援助				
2	体位				
3	活動の援助(体位変換・ポジショニング、車いす、ストレッチャー移乗・移送、歩行)				
4	体位変換・ポジショニング 演習				
5	ストレッチャー移乗・移送、歩行 演習				
6	車いす移乗 演習				
7	睡眠・休息の援助				
8	食事の援助				
9、10	演習				
11	車いす移乗 援助計画の書き方				
12	演習				
13、14	車いす移乗 実技チェック				
15	まとめ				
評価方法	その時間数の 3 分の 2 以上の出席者に限り受験資格を与える。 筆記試験60%、実技テスト30%、提出物10%を総合して評価する 60 点以上を及第点とする。				
教科書	基礎看護学②基礎看護技術 I : 医学書院 基礎看護学③基礎看護技術 II : 医学書院 根拠と事故防止から見た基礎・臨床看護技術 第3版 : 医学書院				